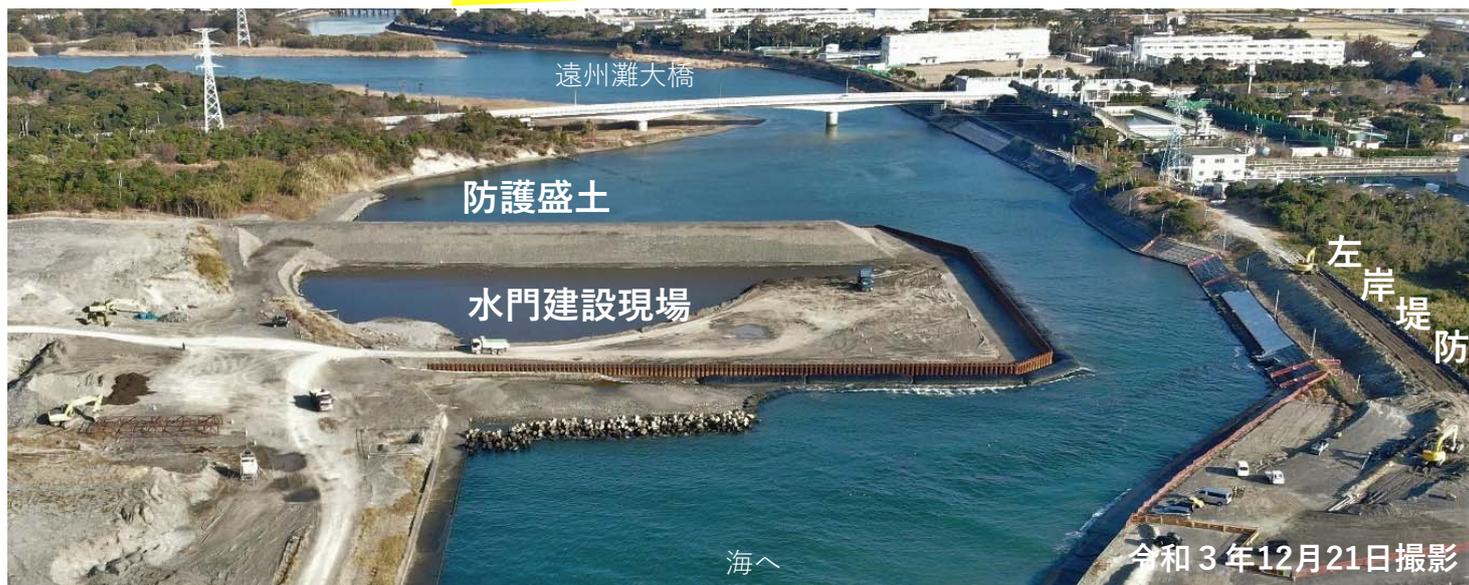


浜松市沿岸の津波対策の最後の要

馬込川水門、**いよいよ**本体着工

浜松市沿岸部にお住まいの皆さまの安全のため、全国に先駆け「レベル2(想定最大)津波に対する減災」を目標に整備された防潮堤。その中で唯一整備が残る馬込川河口部。河口部を襲う津波からの減災を目的に、「馬込川水門」の整備を進めています。

● 本体基礎工事、**3月着手へ**



仮締切工（作業範囲を確保するための囲い）の設置作業は完成しました。令和4年3月からは基礎となる鋼管杭の設置工事に着手する予定です。

● 安全・安心の先取りへ、**標高7.0m**の「防護盛土」を設置

水門建設現場の北側に「防護盛土」を設置しました。水門の完成前に津波が発生したとしても、馬込川河口周辺で大きな減災効果が期待できます。



左岸堤防も標高8.0mにかさ上げしました。



Check! 進捗状況写真は、南区役所1階と県浜松総合庁舎1階にも展示しています。また、静岡県浜松土木事務所ホームページでもご覧いただけます。——>



Check! 静岡県と浜松市では、津波対策を進めるための寄附を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



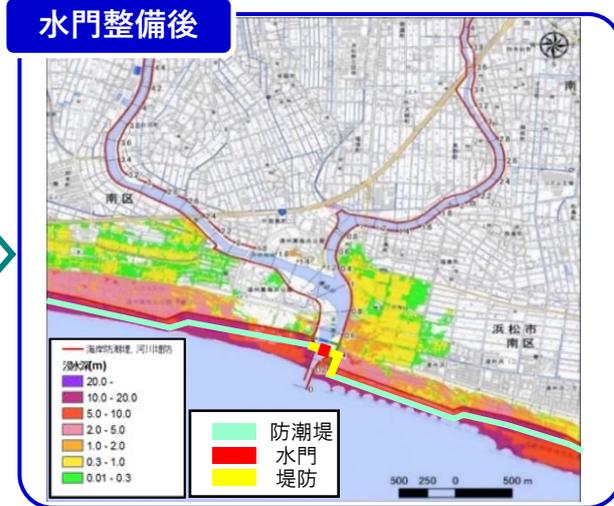
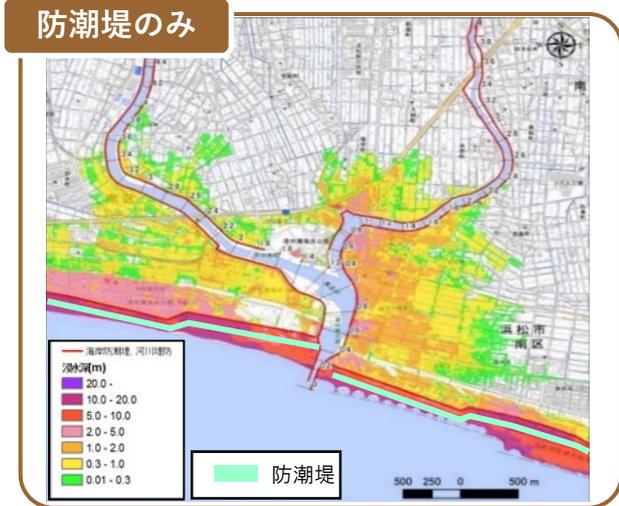
静岡県



浜松市

レベル2*津波による宅地浸水は**89%減少** ※レベル2：想定される中で最大クラス

馬込川周辺での浸水範囲の変化



区分	防潮堤のみ	水門整備後
宅地の浸水面積	64%低減	89%低減
うち浸水深2m以上	93%低減	98%低減

浸水深2m以上の宅地面積では、**98%の低減効果**があります。

(浸水深2mを超えると木造家屋の全壊割合が大幅に増加することが知られています。)

完成目標は令和**9**年度

※令和4年2月現在の予定です。今後の状況により変更することがあります。

令和9年度完成を目標に工事を進めています。少しでも早く効果を発揮できるように、**完成時期の前倒し**に向けた**工事期間の短縮方法**を検討しています。

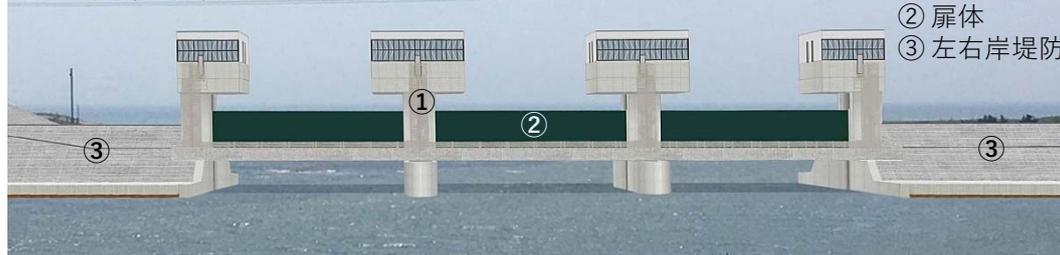
年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	
工事内容 (予定)	仮締切設置	①水門本体(基礎・躯体)			②扉体(設計・製作・設置)		切替	撤去
	現在						完成予定	

次号から、上記目標に対する進ちょく状況についてお知らせしていきます。

水門幅**90m**、津波の防御高さは**8.0m**

完成イメージ(遠州灘大橋からの眺め)

通常時(開門)



津波発生時(閉門)



水門の幅は30mが3門の計90m。水門を閉めた時の防御高さは標高8.0mです。

【お問い合わせ】静岡県 浜松土木事務所 沿岸整備課

TEL : 053-458-7289 E-Mail : hamado-engan@pref.shizuoka.lg.jp

http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-890/bouchoutei/